

平成 31 年 2 月 15 日

茨木市長 福 岡 洋 一 様

茨木市水道・下水道事業審議会
会長 仲 上 健 一

茨木市水道・下水道等事業経営戦略の策定について（答申）

平成 30 年 8 月 24 日付茨水総第 557 号で諮問のありました、「茨木市水道・下水道等事業経営戦略」の策定について、下記のとおり答申いたします。

記

当審議会では、諮問から本日を含め計 5 回の会議を開催し、専門的な見地や市民としての視点から、さらには、パブリックコメント制度における市民等の幅広い意見も踏まえ、慎重に審議を重ねてまいりました。

茨木市水道事業においては、今後給水人口の減少に伴う給水収益の減少のもとで、施設、管路の耐震化、老朽化による更新費用の増加が見込まれることから、計画的な経営を行うことにより、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的に供給していくことが強く求められています。

また、下水道等事業においては、有収水量の減少に伴う下水道使用料の減少により、経営環境が厳しくなると見込まれる中、改築が必要な下水道施設が増大するとともに、大規模災害に対応した施設や体制の整備が求められています。

そのような中、「茨木市水道事業経営戦略（案）」及び「茨木市下水道等事業経営戦略（案）」は、それぞれ必要な事業の着実な実施とそのための財源確保において収支の均衡を図り、今後 10 年間にわたって健全な経営を維持するための「投資・財政計画」が具体的に示されており、経営戦略として妥当な内容のものとして認められます。

なお、今後、両経営戦略を推進していくにあたり、各事業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応して、適宜見直しを行うとともに、進捗状況についてもわかりやすく公表し、市民のご理解とご協力を得ながら、更なる経営努力に取り組まれるよう要望いたします。